

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-1	区役所コンサート	継続	平成5年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容	—			
目的及び内容	区民に質の高い音楽を気軽に楽しんでもらい、また親しまれる区役所を目指し、ランチタイムの時間帯に区役所5階会議室において無料のコンサートを年6回開催する。クラシックやジャズ等、幅広いジャンルの音楽を演奏。18年度で計85回を数え、毎回400人前後の来場がある。多くの来場者が楽しめるよう、演奏ジャンルに工夫を凝らしている。企画・運営は音楽プロデュース会社に委託し、質の高い音楽を提供している。また、2歳以上の一時保育を併設し、子育て中の保護者にとっても参加しやすい工夫を行っている。						
予算額	1,682,000(円)	決算額	1,663,890(円)	不用額※	18,110(円)		
※不用の理由	—						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		5/18(木)「昼下がりのタンゴ」 6/23(金)「日本の心を問う〜ペロだしチョンマ〜」 8/29(火)「親子で楽しむ音楽の玉手箱〜モーツァルト生誕250年」 11/10(金)人形劇団「小さなスズナ姫」 12/21(木)「夜間」「クリスマスデキシージャズコンサート」 1/19(金)「スタンダードジャズ」				
	 8/29 ベルカント室内管弦楽団		実施時期 (開催日/回数等)	5/18、6/23、8/29、 11/10、12/21、1/19	参加 人数等	各回約400人	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 高齢者、子育て中の母親の来場が大部分であった。演奏終了後には「感動した」「また来たい」等の好評の声を得た。話の様子からリピーターが多くみられた。毎回盛り上がりを見せ、参加者に喜んでもらえるコンサートを開催できた。 試行として開催した夜のコンサートには、会社帰りのサラリーマンや父子といったランチタイムでは見られない層の来場があった。しかしながら、何人ものリピーターがランチタイムの時間に来てしまったり、ランチタイムの2/5ほどの来場者数であるなど、課題が浮き彫りになった。リピーターが多いことから、引き続き幅広いジャンルの音楽をプログラムすることが必要である。ほかの音楽イベントとも協力してプログラムを工夫する検討も必要だと考える。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	参加対象を広げるため、開催時間等についても引き続き工夫することが求められる。現在、会場の冷房能力が限界なことから、今後さらに観客が増えるようであれば他会場での開催について検討していく。

※ 区民会議からの主な意見


・夜間に開催したコンサートの入場者数が少なかったとの評価があるが、夜間開催を数日実施すれば定着するのでは。 ・平日の開催では参加者が限られてしまう。試行の夜のコンサート企画は良かったと思う。仕事で来れない方へ、コンサートの様子をビデオ等で紹介するのも良いと思う。
--

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-2	中原区音楽ライブ	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	中原区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	区内で活動を行っているアマチュアバンド、ダンスグループに日頃の活動の成果を発表する場を提供すると共に、音楽やダンスを通じて年齢・性別を超えて広く区民が交流を図る事を目的に開催する。毎年3月第一日曜日にエポック中原で開催。				
予算額	1,500,000(円)	決算額	1,500,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	平成18年度はエポック中原改修工事のため3月4日(日)にクラブチッタ川崎にて開催。出場組数14組。入場者数1200名で大成功の内に幕を閉じた。 開演前から入場の列ができて、全ステージを通じて満員の状態であった。 平成18年度は別事業としてNAKAHARA MUSIC FES2006を予選会として開催し新たな取り組みも行う事ができた。			
	(公募で集まった100名のコーラス隊)	実施時期 (開催日/回数等)	3月4日(日)開催	参加人数等	参加者:200名 入場者:1200名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 平成17年度にエポック中原で開催し過去最高の2000名の入場があった。8回目となる平成18年度は場所が変わる事もあり、不安があったが終始会場内が満員状態で成功を収めることが出来た。実行委員各個人のスキルやノウハウの蓄積もかなりのものになり質の高いイベントが開催することが出来たと思われる。 また、地域で活動を行っているグループを上手く発掘する事により地域住民の動員にもつながっている点は評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	音楽のまちかわさきの中でも突出したボランティア主催の音楽イベントに成長しているので現状を維持しつつ、より多くの区民に親しまれるイベントとなるよう実施していく。

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する音楽グループの発表の場として非常に良い。今後の継続を望む。 ・音楽に関心を持ち始める学齢期の子どもらに、ボランティア主催の活動を紹介し、将来地域活動に参加しやすい環境を整えていければ良い。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-3	中原街道歴史シンポジウム事業	継続	平成15年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	NPO法人 日本伝統文化福祉振興協会		対象者	中原区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局 ・事業内容	—	
目的及び内容	<p>川崎、東京、平塚の郷土史研究者らを交えて中原街道の歴史についてのシンポジウムを開催し、徳川幕府の重要な流通路としての役割を果たしていた中原街道の歴史を再考することにより、区民の郷土意識を醸成することを目的とする。</p> <p>構成内容は学識経験者による基調講演とパネルディスカッション及びアトラクション。</p>				
予算額	750,000(円)	決算額	750,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (パネルディスカッション)		<p>中原市民館大ホールにて、「將軍の鷹狩りと江戸近郊農村」をテーマとして「徳川家康と小杉御殿」「將軍の鷹狩りと中原区域村々」の基調講演に始まり、4名の大学教授・講師をパネリストとした講義を開催した。</p> <p>また、アトラクションとして当時の装束を再現した「將軍の鷹狩り」の着装の実演が行われた。</p>		
	実施時期 (開催日/回数等)	10月7日(土) 1回	参加人数等	200人	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>再開等が進み新しい建物が増えている中原区にあって、小杉御殿町及び小杉陣屋町の中原街道沿いは江戸時代の街道筋のたたずまいを残しており、シンポジウムにおいて中原区に関わる歴史について当時の暮らしや社会情勢・時代背景を学ぶことは郷土意識の醸成に寄与する地域に密着した事業といえる。</p> <p>専門家を講師に招くことにより、普段見慣れた風景や建物の歴史が再認識される新たな発見の場となると共にアトラクションを通じて楽しく江戸文化の紹介がなされ、中原区の魅力発掘にも寄与している。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>中原街道時代祭りと共に定着し、区の歴史を考えるうえで欠かせない事業である。</p> <p>シンポジウムについては、パネリストや講師選びに工夫をすることにより内容に変化をもたせ、幅広い層に向けた歴史紹介の場としていく。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも珍しく大変良い企画である。講話内容をビデオなどで記録し公開して欲しい。 ・地域の歴史と文化の学習を小中学校に声がけし、総合的な学習の中に取り入れてもらい、ふるさとのよさを理解してもらい取り組みを行ったらどうか。
--

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-4	中原区民総ぐるみスポーツ大会	継続	昭和50年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会	対象者	区内在住の小学生男女及び成年女性	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	区民とのパートナーシップで、誰もが参加できるスポーツ大会を実施することにより、区民相互の親睦を深めるとともに健康で明るく住みやすいまちづくりを推進する。 等々力緑地催し物広場において、中原区内の小中学生男子・女子、成年女性の3部門のドッジボール大会と自由参加制のスポーツラリーを開催。種目では、ドッジボール以外にも3種目のスポーツラリーがあり、こちらはゲーム感覚で楽しめるスポーツでドッジボールに参加しない小学生でも自由に参加できるようにしている。				
予算額	750,000(円)	決算額	750,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (総ぐるみスポーツ大会当日の様子)		大会では、こどもから大人までドッジボールやスポーツラリーを通じて交流を深めることができた。また、運営を行なっている諸団体(子ども会役員、青少年指導員、体育指導委員等の方々)同士の交流も深めることができ、親睦にもつながった。 大会に参加したチームからも、また参加したいとの声が多く寄せられた。		
	実施時期(開催日/回数)	平成18年10月22日開催(年1回開催)	参加人数等	約1000名(スポーツラリー含)	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 年々参加者も増加しており、毎年約1000名の区民が参加するイベントとなっているため、区民の参加意欲も高く、区民の健康増進ならびに区民相互の親睦を深めることもできたことから、おおむね目標は達成できた。 参加者の増加に対し、参加賞の単価を抑えるなど工夫し予算額内で事業を執行している点も評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	区内の各町会や区内小学校に、広報物を配布することにより参加者の確保を図る。 また、スポーツラリーについては景品のコストを上げずに、より魅力あるものにするよう検討する。運営については、町会、子ども会、青少年指導員会、体育指導委員会等の協力を得ながら行なっており、今後も同様に協力を得ながら効率的に運営を行なう。

※ 区民会議からの主な意見


・スポーツラリーの種目が同じ。マンネリ化傾向にあるので、区民の参加意欲をさらに高めるために工夫が必要だと思う。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-5	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会	継続	昭和48年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会実施委員会		対象者	区内在住・在勤の小学生高学年以上の男女		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容	—			
目的及び内容	多くの区民に親しまれている「ランニング」を通じて、健康ランニングの普及と区民の健康増進を図ることを目的とする。 小学生高学年男女3kmの部、中学生以上5kmの部、中学生以上10kmの部以上の3部門を多摩川ハーフマラソンコースで開催。						
予算額	400,000(円)	決算額	400,000(円)	不用額※	0(円)		
※不用の理由	—						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (ロードレース大会当日の様子)		大会当日は、前年を大きく上回る、485名が参加者し、区民の健康増進に寄与することができた。さらに、健康ランニングの普及を図ることができた。				
	実施時期 (開催日/回数等)	平成18年12月3日 開催(年1回開催)	参加人数等	485人			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 昭和48年から続いているこの大会は、毎年参加している区民も多く、恒例の大会となっているため、今後も必要な事業であり、幅広い年代の方が参加するなど区民の大会に対するニーズは高い。 参加者に対しては、記念品代の単価で調整するなど、予算額の中で事業を執行している点も評価できる。 また、近年、健康に対する注目度も高く、その中で健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれている「ランニング」を題材としているため、参加者にとって目標としている人も多い。小学生の参加者も増えていることから、今後も健康スポーツの発展には、重要な事業といえる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	趣味及び健康のためにランニングを行なっている区民は多く、参加者数は毎年約500名にも上り、区民の大会に対するニーズが高いため、今後も事業を継続する必要があると思われる。運営については、町内会・体育指導委員・青少年指導員・子ども会・交通指導員等の協力を得ながら行なっており、今後も、これまで同様に各団体の協力を得ながら効率的に運営を行なう。

※ 区民会議からの主な意見

・手軽なスポーツとして誰でも参加できてよい。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-6	区長杯製作・配布事業	継続	平成2年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	特定の地区に偏らず、区全体で楽しめるスポーツレクリエーションを行なう団体		■当初予定事業 □緊急対応事業
事業形態	■直営 □一部委託 □全部委託 □その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	区民の健康増進と相互の親睦を深めるとともに、スポーツの振興発展を目指し、明るく住み良いまちづくりの推進を図ると認められる行事に対し、中原区長杯として相応しい区長杯を製作・贈呈している。				
予算額	282,000(円)	決算額	233,163(円)	不用額※	48,837(円)
※不用の理由	①各賞の単価を下げたため。②18年度開催予定の大会(1大会)が諸事情により中止になったため。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		平成18年度は、計19のスポーツ大会に28個の区長杯を贈呈した。区長杯製作・配布事業は事業開始から16年が経過し、区民にも区長杯事業は浸透してきている。団体からは、区長杯を贈呈したことによって大会が盛り上がったとの声を数多くいただいた。		
	 <p>(少年野球大会での区長杯贈呈の様子)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (年約20回)	参加人数等 —

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区長杯を配布した一部の団体では、トロフィーを毎年再活用して持ち回り制にするなどの工夫がある。これにより多くの団体に区長杯を贈呈できるようになった。また、1個あたりの単価を下げるなどして効率的に作成・配布している。</p> <p>区長杯を贈呈したスポーツ大会などでは、区民相互の親睦を深められたとともに大会の活性化を促進したことから、おおむね目標は達成できた。</p> <p>区内の特定の地域だけではなく、区全体の大会に対して区長杯を贈呈することで、区長杯事業の目的が地域に浸透してきている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>区長杯は、特定の地域におけるスポーツレクリエーション行事に贈呈するのではなく、区全域における行事に贈呈している。近年、区長杯の贈呈依頼件数は増加傾向にあり、今後も新規に区長杯の贈呈を依頼してくる団体も考えられるので、トロフィーの単価を下げるなどして対応していく。区長杯に対するニーズは高い。区長杯を贈呈することにより各スポーツ行事を活性化することができ、今後も事業を継続していくことは必要だと思われる。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<p>・区長杯の配布基準と贈呈の状況、新たに配布を希望することができるかなどを教えて欲しい。機会があれば地域に事業の存在を周知したい。</p>

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-7	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	平成2年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート実行委員会		対象者	中原区内全中・高等学校吹奏楽部、ゲスト、区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()		関連事業局・事業内容	—	
目的及び内容	<p>音楽を通じ、情操豊かで創造性あふれる青少年の育成を図り、より良い校外生活へ導くとともに、文化の薫り高い音楽のまちづくりを推進することを目的として、中原区内の中学校・高等学校吹奏楽部を対象として吹奏楽コンサートを開催している。</p> <p>毎年11月3日(文化の日)にエポックなかはらで開催しているが、18年度はエポックなかはらが改修工事中のため、11月25日(土)に川崎市教育文化会館にて開催した。</p>				
予算額	2,055,000(円)	決算額	2,018,634(円)	不用額※	36,366(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(合同演奏の様子)</p>		<p>青少年に日頃の練習成果の発表の場を与え、ゲストを招くことで通常聴くことのできないプロの生の演奏を聴かせることができた。また、スタッフに中学生・高校生を加え、実行委員と一緒にコンサートを運営することができた。</p> <p>今年度は開催時期が遅かったことなどから、出演校が8校と例年より少なかったが、希望する生徒を募って合同演奏を行い、学校として出演しなくても生徒がコンサートに参加できるように工夫できた。また、合同演奏が85人と大人数で行われたことから、迫力ある演奏ができ、出演者・観客に好評だった。</p>		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成18年11月25日(土)	参加人数等	659名	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>業務委託先である実行委員会はボランティアとして活動する青少年指導員が主体となって構成されており、一般的なコンサートと比べ安価で開催できている。</p> <p>当日は生徒が主体となってコンサートを運営できるようになってきている。青少年に発表の場、ボランティア精神を養う場を提供することは重要なことであり、開催の目的である青少年の健全育成に役立たせることができた。</p> <p>また、出演生徒だけでなく、区民に対しても、気軽に音楽を楽しめる場の提供となっているため、文化の薫り高いまちづくりの推進にも貢献できた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>会議の時間が夜ということもあり、コンサートの企画は実行委員会が行い当日の運営に生徒を加えるという方法でコンサートを開催しているが、企画の段階から生徒の意見を反映できるよう工夫する。</p>

※ 区民会議からの主な意見

<ul style="list-style-type: none"> 無料で入場できる音楽コンサートで、回ごとに入場者が増加している。 主体側と出演生徒の交流も図れ、青少年の健全育成活動に繋がっている。
